

2023年度学会発表等一覧

学会名	職種	発表者	演題名
第57回日本作業療法士学会	OT	林悠大	クモ膜下出血後の意思疎通困難な患者に役立つライフヒストリーカルテ ～食事の自己摂取量に着目したABABデザインによる検討～
第57回日本作業療法士学会	OT	寺嶋陽平	更衣自立と認知機能(Cognitive-related Behavioral Assessment)の関与～効果的な早期リハビリの介入に向けて～
リハビリテーション・ケア合同研究大会2023	OT	野呂歩南	回復期リハビリテーション病院に入院された脳卒中患者の転帰先に影響を及ぼす因子
第22回東海北陸作業療法学会	OT	芥川比呂	意欲低下のある患者と自宅退院に不安のある妻に対して家屋訪問前後でチェックリストを使用し認識に変化を与えた一例
第22回東海北陸作業療法学会	OT	巻野太星	認識の変化がADLに影響を与えた一例　～OPAT6を用いて～
第22回東海北陸作業療法学会	OT	堀川玲希	高次脳機能障害に対し病識がない症例に対する介入　メモリーノートを用いたフィードバック(FB)による気づきの向上
第9回日本臨床作業療法学会学術大会		林悠大	手背に局所性浮腫グローブを作成し使用した圧圧迫治療の効果　～実験的症例研究デザインにて検証～
第24回日本語聴覚学会inえひめ	ST	伊藤梓	回復期病院における経管栄養患者の帰結について嚥下機能と認知能力が与える影響
第24回日本語聴覚学会inえひめ	ST	二村耕平	病前の社会活動が一部再開できた失語事例
第17回愛知県言語聴覚士会総会・学術集会	ST	北村沙織	若年失語症者の社会復帰支援に難渋した一例
回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会in熊本	ST	志賀真理子	回復期病棟における失語症当事者同士の会話が心理面に与える影響
第1回セラピストマネジメント研究会	ST	小林瑞穂	ST部門教育・効果的・効率的な情報発信を目指して～
第31回愛知県理学療法学会学術大会	PT	水野敬太	脳卒中患者に対する介入頻度の異なるトレッドミル歩行練習における効果
	PT	堀田安里	大腿骨顆上骨折術後に膝伸筋の機能不全が残存した症例に対する随意運動助助型電気刺激装置 IVES の使用
	PT	近藤玲美捺	小脳性運動失調患者に対する体重免荷トレッドミル歩行練習の効果-シングルケースデザインによる検証-
	PT	畠山大生	重度脳卒中片麻痺患者におけるウェルウォーク(WW-1000)の治療経験　～Evidence-Based-Physical-Therapy　の実践～
	PT	北島菜那	重度脳卒中患者に対する移乗動作獲得を目的としたウェルウォークを用いた歩行練習に関する一考察
	PT	今津孝太	大腿骨転子部骨折患者に対する体重免荷装置を使用した歩行練習の有用性
第39回東海北陸理学療法学会学術大会	PT	加藤涼平	ウェルウォークWW-1000を実施した重度脳卒中患者における歩行自立度とアシスト機能との関連
	PT	水野敬太	脳卒中片麻痺患者に対するウェルウォークを使用した高速度歩行練習の練習効果及び下肢関節角度と筋活動の比較
第21回日本神経理学療法学会学術大会	PT	牧芳昭	脳卒中患者における行動観察による認知機能と日常生活動作能力の関連－認知関連行動アセスメントに着目して－
	PT	今津孝太	下肢C1療法が脳卒中片麻痺患者の歩行速度と下肢機能に及ぼす効果－シングルケースデザインによる検討－
	PT	山田将成	脳卒中片麻痺患者に対するウェルウォークを使用した高速度歩行練習の効果－症例集積研究－
日本転倒予防学会第10回学術集会	PT	牧芳昭	当院における改変転倒リスクアセスメントシートの精度～認知関連行動アセスメント(CBA)に着目して～
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	PT	長崎圭吾	重度の神経障害を認めた脊髄梗塞患者に対する積極的な立位・歩行練習の経過
	PT	水口剛司	小脳性運動失調・側方突進現象を呈した脳幹出血患者に対するウェルウォークWW-1000の実施
	PT	瀬戸達也	生活機能低下予防に対する通所リハの取り組み
リハビリテーション・ケア合同研究大会2023	PT	福井祐介	当院回復期リハビリテーション病棟における理学療法士の心理的安全性およびワークエンゲージメントの実態調査
	PT	中端亮平	脳卒中患者における入院時の認知能力が中等度から軽度以上に改善する患者の特徴
	PT	山田将成	当院における転倒対策フローチャートの作成およびその効果
回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会in熊本	PT	三田琢磨	大腿骨近位部骨折患者における回復期病院退院時の歩行補助具別での歩行自立予測モデルの作成-決定木分析による検討-
	PT	加藤涼平	転倒や危険行動を繰り返していた患者に対しIoTデバイスを使用することで転倒報告の除外が出来た経験の報告

企画名	職種	発表者	題名
2023年度セラマネスキルアップ研修	PT	牧芳昭	当院PT部門における1on1標準化に対する取り組み
第 30 回日本神経理学療法学会 サテライトカンファレンス神戸	PT	牧芳昭	【シンポジウム】最適な理学療法の実践を症例から学ぶ-症例報告・症例研究の推進-

雑誌名	職種	発表者	題名
リハナース 2023年6月号	ST	伊藤梓	高次脳機能障害の患者さんの‘困った行動’にどう対応する？　リハの必要性がわからず早く家に帰りたい(病識欠如)
リハナース 2023年秋季増巻月号	NS	高比良梓	看護・介護10カ条でスッキリわかる回復期リハビリター四看護「他職種と情報の共有化をしよう」
愛知県理学療法学会誌 第 35 巻 第 2 号	PT	石野晶大	回復期リハビリテーション病棟に入棟した脳卒中患者における入棟期間中の身体機能・能力評価の変化量を用いた退棟時の歩行自立度の予後予測　－決定木分析を用いた検証－
Int. J. Environ. Res. Public Health 2023, 20(4)	PT	Yoshiaki Maki	Association between the Cognitive-Related Behavioral Assessment Severity Stage and Activities of Daily Living Required for Discharge to Home in Patients with Stroke:A Cross-Sectional Study